

No. **340**
WINTER 2022

YASKAWA NEWSは
お客さまと安川電機を結ぶPR情報誌です。

特集
p2

カーボンニュートラル への取組み

p6 新製品

MOTOMAN-HC30PLを発売

p7 トピックス

安川テクノロジーセンタが日経ニューオフィス賞を受賞

MOTOMAN-GP8が機械工業デザイン賞を受賞

電機工業技術功績者表彰にて優良賞を受賞

MECHATROLINK協会の活動紹介

p11 展示会

「SEMICON JAPAN 2022」出展案内

「第22回Photonix 光・レーザー技術展」出展案内

「第7回スマート工場EXPO」出展案内

p13 コラム

陸上部NEWS



カーボンニュートラル への取組み

脱炭素、カーボンニュートラルへの動きが世界的に進む中、安川グループもCO₂排出量削減に力を入れています。当社グループの環境経営は、当社のオペレーションにおける環境負荷の低減を主旨とした「グリーンプロセス」と、当社製品を通じた世界中のお客さまの環境負荷低減への貢献を主旨とする「グリーンプロダクツ」の両輪で推進しています。特に気候変動問題への取組みがグローバルでの喫緊の課題であることを認識し、2025年に当社製品によるCO₂排出削減貢献量を当社グループによるCO₂排出量の100倍以上とする目標「CCE100^{※1}」を独自に設定し、環境経営を推進しています。今回は、安川グループの環境ビジョン「YASKAWA ECO VISION」と目標「CCE100」の詳細と取組みを紹介します。

※1 CCE100:Contribution to Cool Erth 100

環境ビジョン「YASKAWA ECO VISION」と長期目標

生産活動(グリーンプロセス)における環境負荷は従来以上に低減するとともに当社グループの技術力をもって製品の環境性能を高め、製品(グリーンプロダクツ)により世の中の環境負荷を低減することで更なる貢献を果たします。

気候変動がグローバルで様々な影響を及ぼすことが問題となる中、当社コア技術であるパワー変換技術等を活用した製品を通じたCO₂排出量削減を中心に、多面的な環境活動により持続可能性を追求し、企業価値向上を図ります。



2025年度目標



- 製品を通じた環境負荷低減
CO₂排出量抑制120百万トン^{※2}
- 当社環境製品の社内導入と見える化
- 製品構成材料のリサイクル性向上
- 全製品へのグリーン調達適用



- CO₂排出量10%削減^{※3}
(2030年度目標 15%削減)
- 廃棄物排出量 2018年度以下
- 水の使用・排水の適正管理
- 生産活動での有害物質管理徹底

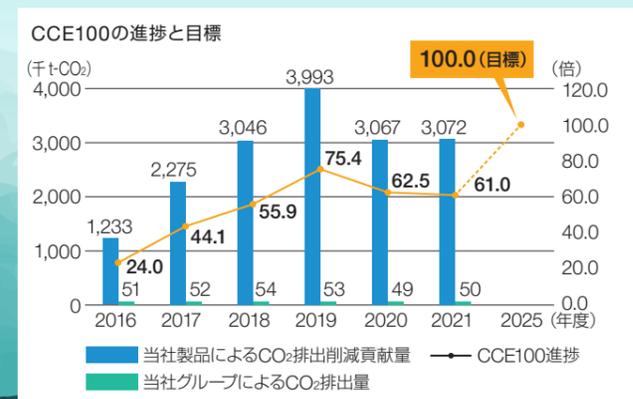
※2 2016年度以降累計 ※3 2015年度比、売上高原単位

グリーンプロセスとグリーンプロダクツを両輪とした環境経営の推進

CCE100とは?

$$\frac{\text{製品で削減するCO}_2}{\text{自社で排出するCO}_2} \geq 100$$

2025年に
100倍以上の
貢献



分子 製品で削減するCO₂

インバータ機器や再生エネルギー機器は、エネルギーそのものの消費を減らしたり、エネルギーを新たに生むことで、脱炭素化に直接貢献します。

分母 自社で排出するCO₂

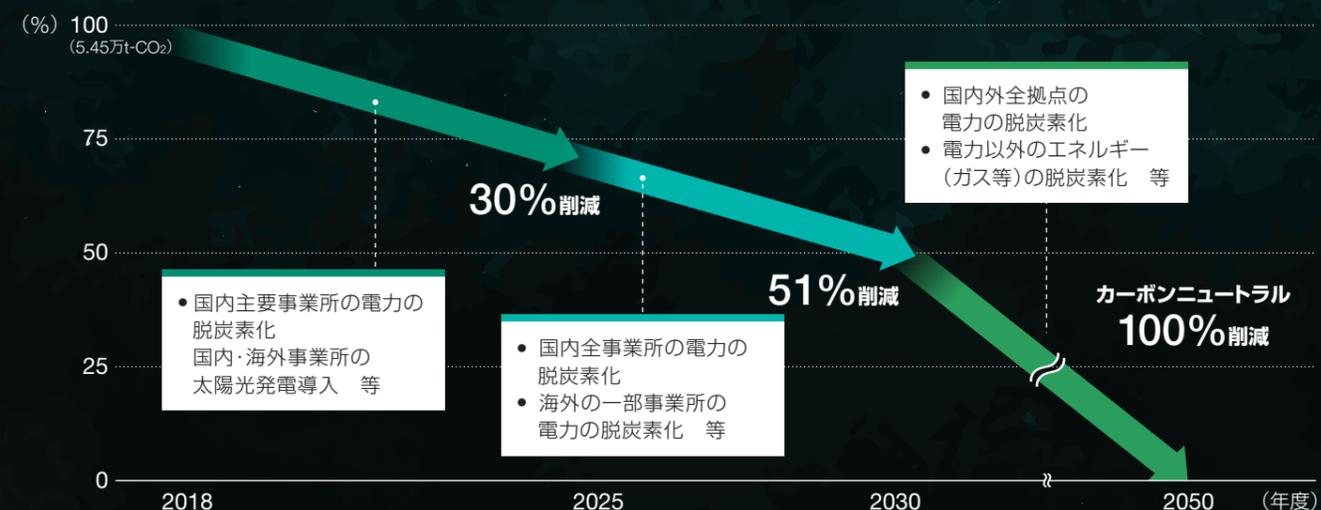
自社製品の技術を積極的に活用し、社内の各事業所に太陽光発電を設置しています。これにより、事業所内で使用する電力を自ら「創る」取組みをしています。それでも足りない部分は、CO₂フリー電力を購入することにより、脱炭素化に貢献しています。

カーボンニュートラル目標 2050 CARBON NEUTRAL CHALLENGE

当社は、2022年5月に、グループの環境ビジョンである「YASKAWA ECO VISION」における2021年に定めた2050年カーボンニュートラル目標を改定し、そのマイルストーンとなる2030年の安川グループのグローバルの事業活動に伴うCO₂^{※4}排出量(スコープ1^{※5}+スコープ2^{※6})の削減目標を2018年比で36%から51%へ引き上げたほか、サブ

ライチェーンの上流および下流における排出量(スコープ3^{※7})の2030年の削減目標を2020年比で15%とする目標を新たに加えました。

今後は、従来の取り組んでいる省エネ推進、太陽光発電設備の導入に加え、電力等の脱炭素化の推進により目標達成に努めます。



※4 二酸化炭素およびその他温室効果ガス(フロン等)を含む
 ※5 スコープ1:主に燃料使用に伴う排出(自社の直接排出)
 ※6 スコープ2:購入した電力・熱の使用に伴う排出(電力会社等による自社の間接排出)
 ※7 スコープ3:スコープ1、スコープ2以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)



太陽光発電による創エネの取組み

当社は八幡西事業所を始め国内各拠点の建屋(屋根部)に太陽光発電を導入し、各事業所内で使用する電力を創る取組みを行っています。

北九州市の八幡西事業所(ロボット村)では、電力由来のCO₂排出量を2021年度にゼロにする取組み「Clean Power

100 Project」を進めてきましたが、1年前倒しで目標を達成しました。

ロボット村で活用されている環境技術については、安川電機みらい館に見学に来られたお客さまに分かりやすく紹介しています。



安川テクノロジーセンタ(YTC)

八幡西事業所(ロボット村) 873kW

太陽光発電設置容量
2021年国内実績 **2.5MW**

中部ロボットセンタ 46kW



関東ロボットセンタ 10kW



中間事業所 1015kW



行橋事業所 351kW



入間事業所 220kW

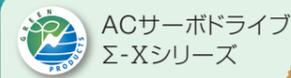
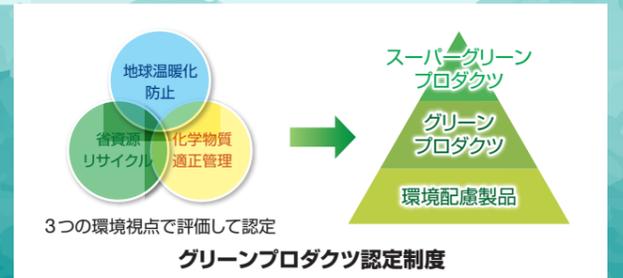


製品・サービスでの環境貢献

安川グループは「YASKAWA ECO VISION」において、技術力をもって製品の環境性能を高め、製品(グリーンプロダクト)により世の中の環境負荷を低減することで更なる貢献を果たすことを掲げています。

そこで、お客さまの生産性・省エネ性を飛躍的に向上させ、世の中の環境負荷を低減するために、グリーンプロダクト認定制度を導入しています。製品による環境貢献度を「地球温暖化防止」「省資源・リサイクル」「化学物質適正管理」の3つの視点で点数評価し、一定の基準を満たす製品をグリーンプロダクト、業界最高水準の環境性能を発揮する製品をスーパーグリーンプロダクトとして認定しています。

2021年度は、4製品を認定し、累計34製品の認定となりました。スーパーグリーンプロダクト認定製品は、省エネ大賞を受賞するなど、外部からの高い評価も得ています。



ACサーボドライブ
Σ-Xシリーズ

受賞
2021年 日刊工業新聞社
第64回十大新製品賞



サーボから始める
デジタルデータソリューション

- ・業界最高のモーション性能
- ・サーボモータやΣ-LINKIIから各種データを収集し、装置の予防保全を実現



ロボット
MOTOMAN-PL190



クラスNo.1の可搬質量で、
省エネ性を向上させた
パレタイジングロボット

- ・食品、飲料関連の箱物・袋物搬送に最適
- ・可搬質量 190kg



ロボット
MOTOMAN-GP4

受賞
2021年 日刊工業新聞社
第51回機械工業デザイン賞



有効動作領域を拡大し、省エネ性を向上させた
多用途適用型ロボット

- ・全軸 IP67 を標準とし、耐環境性を向上
- ・可搬質量 4kg



ロボット
MOTOMAN-PL320



クラスNo.1の可搬質量で、
省エネ性を向上させた
パレタイジングロボット

- ・木材を始めとした重量物搬送に最適
- ・可搬質量 320kg



YASKAWA グリーンプロダクトによる CO₂削減量

安川電機ホームページに、「販売された安川製品のCO₂削減貢献量」を日々算定し、緑化面積として可視化して紹介した動画を掲載しています。詳細は安川電機ホームページの「製品を通じたCO₂削減貢献」ページをご覧ください。

※動画は毎日更新しています。動画に記載のある内容は更新時のものです。

<https://www.yaskawa.co.jp/company/csr/env/co2signage>



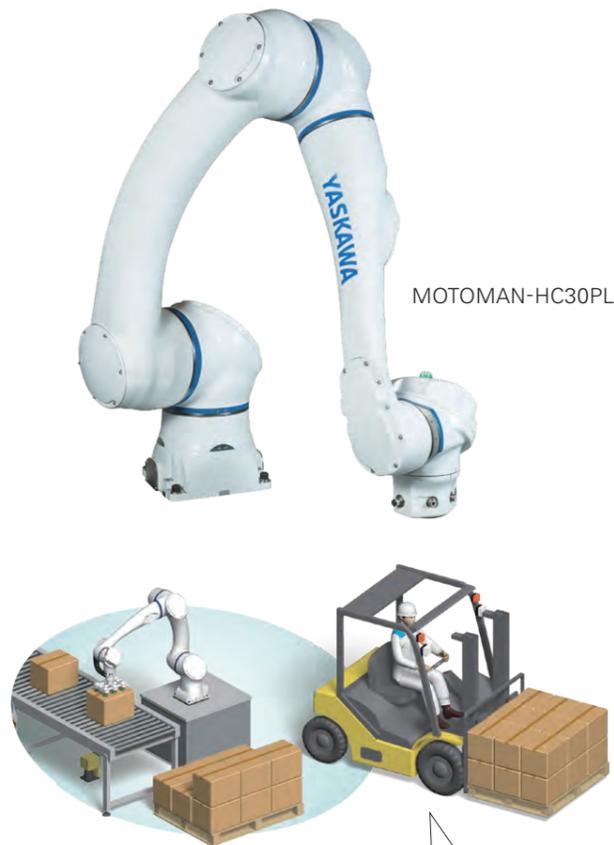
可搬質量を30kgに向上、パレタイジング用途へ適用可能な人協働ロボット MOTOMAN-HC30PLを発売

近年は様々な業種において、生産年齢人口の減少により深刻化する労働力不足を背景に、ロボットを活用した自動化や品質の安定化、コストの削減が進められています。こうした中、当社はロボット周囲の安全柵なし*1で人と並んで作業ができる人協働ロボットのラインアップを充実させることで、省スペースでフレキシブルな生産ラインの実現、そしてロボットの活用分野の更なる拡大を図っています。

このたびに開発したMOTOMAN-HC30PL(可搬質量30kg、リーチ1600mm)は、これまで可搬質量10kgと20kgでシリーズ展開していた人協働ロボットMOTOMAN-HCシリーズの可搬質量を30kgに向上させたことで、人と同じ作業スペースで段ボールなど重量物のハンドリングができ、設備の省スペース化を実現します。

また、本製品はMOTOMAN-HCシリーズの特長であり、お客さまから好評をいただいている高い安全性と初めてロボットを触る方でも簡単に操作できる機能などを備えています。各社ハンドメーカーから人協働ロボット用として販売されている豊富なエンドエフェクターや周辺機器についても接続を簡易化しているため、容易なロボット導入が可能です。

主な用途 梱包、箱詰めした製品、およびそれらをまとめた段ボールの搬送など



使用イメージ 安全柵がないため、フォークリフトでロボットの作業エリア内に入り、直接パレットの搬送が可能

高可搬化(20kg→30kg)による パレタイジング用途への適用拡大

お客さまの最終製品の出荷では、まとまった数量で段ボール箱などに詰められるため、箱自体の質量が増加します。また、お届け先では人手での移載が必要であることから、箱の質量は10kg~20kgが一般的となりますが、箱を把持するハンドの重さを考慮するとそれ以上の可搬質量が必要となります。さらに、物流の効率化のため段ボール等はパレット上に積み上げられてトラック運送等の物流部門へ引き渡されますが、主要なパレットサイズは1辺が1100mm前後の正方形もしくは長方形となります。

これらの条件に合うよう、可搬質量30kgでリーチ1600mmとなるように設計し、パレタイジング用途への適用を可能としました。人と同じ作業スペースで重量物のハンドリングができるという人協働ロボットの特長とともに、パレタイジングに適した仕様で設備の省スペース化を実現します。

また、全軸においてIP67の防じん・防滴構造を採用しています。表面塗装はアクリルウレタン塗装、先端フランジの材質はステンレスを用いており、衛生面への配慮から水洗が必要な用途での使用も可能です。

※記事中に記載された名称は、各社の商標または登録商標の場合があります。

周辺機器との簡易接続(Plug & Play)の実現

ロボット先端のエンドエフェクター取付け部は、標準規格「ISO9409-1-50-4-M6」に準拠しており、同規格に準拠した豊富なエンドエフェクターや周辺機器など様々な機器と簡単に接続・動作させることが可能です。また、ロボット内蔵ケーブルとして、ロボット先端へのカメラ搭載などに便利なETHERNETケーブル(Cat.6)やI/O用のケーブルやエアホースを内蔵しており、ロボット外装に配線を無くすることで周辺機器との干渉を避け、セットアップを容易に行うことができます。

- ※1 安全機能により安全柵なしのシステム構築が可能ですが、全てのケースにおいてリスクアセスメントとリスク低減策を実施する必要があります。
- ※2 IPはIEC(国際電気標準会議)で定められている製品の防じん・防水における保護等級(International Protection Code)を示し、IP67の場合、じんあいは侵入せず、一時的な水没に対して保護できます。

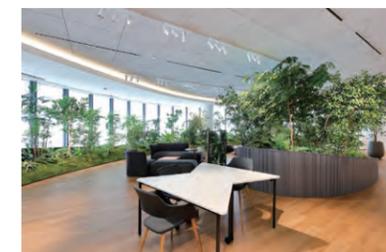
● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 営業推進課 TEL: 093-645-7703 FAX: 093-645-7802

安川電機の新たな技術開発拠点 安川テクノロジーセンターが日経ニューオフィス賞を受賞

当社の新たな技術開発拠点「安川テクノロジーセンター(YTC)」は、日本経済新聞社と一般社団法人ニューオフィス推進協会(NOPA)が共催する第35回日経ニューオフィス賞にて、応募総数131件の中から16件が選ばれた「日経ニューオフィス推進賞」を受賞しました。また、併設された九州・沖縄ブロックのニューオフィス賞で最優秀となる「九州経済産業局長賞」も同時に受賞しました。

この賞は、快適で機能的なオフィスを表彰するもので、YTCは「メガストラクチャーによって柱や壁を少なくし、技術者を集結させるための大空間を実現した」点が高く評価されました。

当社は、今後も世界一・世界初にこだわり、YTCから新たなイノベーション創出にまい進してまいります。



● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 093-588-3076 FAX: 093-645-8831

食品用途に求められる「対薬品性能」と「サニタリー性」を実現 MOTOMAN-GP8が機械工業デザイン賞を受賞

当社の特殊表面処理・食品仕様ロボットMOTOMAN-GP8は、日刊工業新聞社が主催する「第52回機械工業デザイン賞IDEA」にて、入賞19製品に入り、審査委員会特別賞を受賞しました。この賞は日本の工業製品デザインの振興・発展を目的に1970年に創設されたもので、機械分野の製品の中で優れた機能美と性能を併せ持つものを選定し表彰しています。

特殊表面処理・食品仕様ロボットMOTOMAN-GP8は、メッキによる特殊な表面処理と食品機械用潤滑剤を使用することにより、食材に直接接触する工程でも、ロボット表面や内部からの塗料片の混入リスクや潤滑剤の飛散等による衛生環境への悪影響を排除できます。この食品機械用潤滑剤は低温環境でも通常動作を確保できるため、生産性へ影響を与えません。また、水・アルコール・酸性・アルカリ性の洗浄液(洗浄液指定あり※1)にも対応しています。さらに、滑らかなアーム形状により、食材や調味料がロボットアーム上に付着・堆積しにくく、防じん防滴構造(IP67※2)により、ふき取り・洗浄も容易に行えます。

ハンドリング用途に最適化された標準仕様の高い性能を維持しながらも、食品用途に求められる「耐薬品性能」と「サニタリー性」を考慮した設計を実現した点が評価され、今回の受賞となりました。

食品市場は、昨今のコロナ禍において、より一層自動化への期待が高まっています。食品市場では、いまだに人手に頼る作業が多く、人の作業の柔軟さを実現するための高度な自動化が必要です。そのためにはロボットが自分で考えて動作するロボットの自律化が必要不可欠と考えており、自律化のための様々な技術開発を進めています。今後も本課題の解決とその先にある新たなソリューションの提供に尽力していきます。

- ※1 指定洗浄液については、製品仕様書および取扱説明書に記載しています。
- ※2 電気機器内への異物の侵入に対する保護等級の規格で、粉じんが内部に侵入せず、規定の圧力、時間で水中に浸せきしても有害な影響を受けないレベル。高圧洗浄には対応しておりません。



特殊表面処理・食品仕様ロボット
MOTOMAN-GP8

最新の技術情報をレポート形式でお伝えする「テクニカルレポート」にて、特殊表面処理・食品仕様ロボットMOTOMAN-GP8の情報を公開しています。

テクニカルレポート 2022 No.5

食品加工および中食市場における自動化への挑戦
～特殊表面処理・食品仕様ロボットMOTOMAN-GP8の開発～



<https://www.yaskawa.co.jp/technology/technical-report/detail220907>

● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 093-588-3076 FAX: 093-645-8831

電機工業の進歩発達に貢献 電機工業技術功績者表彰にて優良賞を受賞

一般社団法人 日本電気工業会(JEMA)では、1952年(昭和27年)から、技術の向上と合理化意欲を刺激して業界の発展に資するため、JEMA正会員企業の業務に従事し、電機工業の進歩発達に貢献した方を表彰しています。

2022年度(第71回)の表彰として、当社から優良賞2件・6名が表彰されました。(個人情報保護の観点から、個人名の掲載は控えさせていただきます。)

優良賞 重電部門



セルを統合制御し進化しつづける新世代コントローラ YRM-Xコントローラ

様々なものづくりの現場では、IoTやAIを活用した生産効率や品質の向上など、スマート工場の進化に向けた取組みが加速しています。生産効率を向上させるためには、セルを構成する様々な機器などから、統合的かつ時系列にデータを収集、分析して結果を生産設備にフィードバックする必要があります。こうした課題に対し、装置や産業用ロボットなどで構成された“セル”の様々なデータを高速かつリアルタイムそして時系列に同期し、統合的に制御する“YRM-Xコントローラ”を開発しました。

セル全体を1台で制御

複数の装置およびロボットからなる構成で、共通のワークを持つなど、データの関連性が存在するひとつながりの設備を“セル”と呼びます。YRM-Xコントローラはこのセル全体を1台で最適に制御し、セル内の装置やロボットのデータを統合的かつ時系列に収集します。

“装置とロボティクスとデータの統合”を実現し データをもとに“動きに変える”

YRM-Xコントローラにより、装置・ロボットの“時間が一致した活きたデータ”を取得することで、セル全体の状況をリアルタイムに把握することができます。さらにYRM-Xコントローラとソフトウェアツール“YASKAWA Cockpit”を連携させることにより、取得したデータを解析し、解析した結果を“データ、動き(モーション)”としてセル全体へフィードバックすることで、“ものづくりの自動化(安定稼働・安定品質・工程改善)”を実現します。

優良賞 重電部門



脱炭素社会の実現に貢献する 超高効率薄型同期電動機 エコPMモータ フラットタイプの開発

脱炭素社会の実現が世界共通の目標となる中、環境への配慮は企業にとって重要課題となっています。各国においても政府による環境規制などを受けて、製造業を中心に企業側でも省エネやカーボンニュートラルへの取組みに対する高まりがあります。そこで、創業以来100年にわたり培ってきたモータ技術・パワー変換技術を活用した省エネ新製品エコPMモータ フラットタイプを開発、市場へ提供し、機械・設備の生産性・省エネを飛躍的に向上させ、世の中のCO₂排出削減にチャレンジします。PMモータは回転子(ロータ)に永久磁石を配し誘導電動機よりも省電力

で回転します。このエコPMモータ フラットタイプは、IE5レベルの高效率を達成、さらにモータ本体を薄型構造とし、適用する機械・設備の小型化、レイアウト設計の自由度を飛躍的に向上させます。また当社の小型・高機能インバータとの組合せにより、機械・設備の付加価値の更なる向上に寄与します。

超高効率

世界最高レベルの効率クラスIE5を超える高效率を実現

薄型設計

モータ本体部全長は標準誘導電動機比約35%(65%短縮)

全閉ファンレス

省メンテナンス、運転中の風切り音を解消

200/400V 共用

仕向地によるモータ手配・管理の簡略化、在庫削減への貢献

高機能

当社インバータとの組合せで異常予兆検知機能など機械・設備の付加価値向上

● お問い合わせ先：広報・IR部 TEL: 093-588-3076 FAX: 093-645-8831

高信頼性のモーション制御を実現するMECHATROLINKを世界に普及 MECHATROLINK協会の活動紹介

「産業オープンネット展2022」出展報告

MECHATROLINK協会(MMA)は、2022年8月2日(火)、3日(水)に東京で開催された「産業オープンネット展2022」に出展しました。3年ぶりのリアルイベントとなりましたが、10の共催協会と42の協賛会社が一堂に会し、ネットワーク技術や自社製品の紹介を行いました。

MMAは2日目の午前中にセミナーを行い、MECHATROLINKの最新技術の特長や導入メリットについて分かりやすくご紹介しました。

展示エリアでは、MECHATROLINK-4とΣ-LINK IIのコンセプトデモを展示し、より詳しい説明を行いました。出展メーカーの方にも多数ご覧いただきました。協賛会社のブースでは、MECHATROLINK対応製品の展示もありました。

今後もMECHATROLINKの普及活動を積極的に行ってまいります。



セミナー動画公開のご案内

産業オープンネット展2022の会場で行われた出展者セミナーの動画を無料公開しています。

38の団体・企業の動画を、お好きなときに視聴できます。ご興味のある方は以下よりお申し込みください。

<http://www.sangyo-open.net/docs22/request.php>



※12月19日(月)までの期間限定公開動画です

※MECHATROLINK協会はNo.21の動画です。

タイトル『産業データの活用を支えるMECHATROLINKの技術』



● お問い合わせ先：モーションコントロール事業部 事業企画部 事業パートナー拡大推進課 TEL: 04-2962-6359 FAX: 04-2966-0746

半導体関連エレクトロニクス製造サプライチェーンの国際展示会 「SEMICON JAPAN 2022」出展案内

半導体産業における製造技術・装置、材料などが結集するエレクトロニクス製造サプライチェーンの国際展示会「SEMICON JAPAN 2022」が2022年12月14日(水)～16日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催されます。

安川電機ブースでは、「半導体製造のそばに～ウエハ・基板搬送を支えるYASKAWA～」をテーマに、ダイレクトドライブモータ

を採用した低振動・高精度のウエハ搬送用クリーンロボット SEMISTAR-GEKKOや、新機種基板搬送ロボットなどをご紹介します。その他、ACサーボドライブΣ-XシリーズやYRM-Xコントローラなど豊富な製品ラインアップでお客さまの生産性向上、ひいては「止まらない設備・工場」実現を実現するソリューションをご紹介します。



半導体ウエハ搬送用クリーンロボット
SEMISTAR-GEKKO MD124D

SEMICON[®] JAPAN

会 期 2022年12月14日(水)～16日(金)
10:00～17:00

会 場 東京ビッグサイト 東展示棟・会議棟
安川電機ブース小間番号：4238(東4ホール)

主 催 者 SEMI

U R L <https://www.semiconjapan.org/jp/>



● お問い合わせ先：営業本部 半導体営業統括部 TEL: 03-5402-4546 FAX: 03-5402-4408

光・レーザー関連技術の総合展 「第22回 Photonix 光・レーザー技術展」出展案内

光・レーザー関連技術の総合展「第22回Photonix」が2022年12月7日(水)～9日(金)の3日間、幕張メッセで開催されます。安川電機ブースでは、銅の溶接に最適な青色レーザーと基本波レーザーとのハイブリッドレーザー、リングモードレーザーなど業界のトレンドに対応したガルバノスキャナ「MIRAMOTION」を様々な事例を交えて紹介いたします。是非ご来場ください。

会 期 2022年12月7日(水)～9日(金)
10:00～18:00(最終日のみ17:00まで)
会 場 幕張メッセ
安川電機ブース小間番号：54-52(8ホール)
主 催 者 RX Japan 株式会社
U R L <https://www.material-expo.jp/tokyo/ja-jp.html>



● お問い合わせ先：営業本部 自動車営業統括部 西部営業部 レーザーソリューション営業課 TEL: 048-871-6892 FAX: 048-871-6920

IoT/AI/FAによる製造革新展 「第7回 スマート工場EXPO」出展案内

スマート工場、スマート物流を実現するためのIoTソリューション、FA/ロボット、AIなどの最新技術・ソリューションが一堂に会する展示会「第7回スマート工場EXPO」が2023年1月25日(水)～27日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催されます。製造業では自動化や省人化、そしてデータ活用による製造現場のDX化など生産効率の向上がより一層求められています。これらのニーズに対して、安川電機ブースでは、当社が提唱する「i³-Mechatronics」コンセプトのもと、ITとOTの融合されたモノづくりを行いスマートファクトリーを実現することで、お客

さまの経営課題を解決する具体的なソリューションをご提案いたします。弊社工場での実用事例や、パートナー企業との共創事例などを交えてご紹介いたしますので、この機会に是非ご来場ください。

会 期 2023年1月25日(水)～27日(金)
10:00～17:00
会 場 東京ビッグサイト 西2ホール
主 催 者 RX Japan 株式会社
U R L <https://www.fiweek.jp/tokyo/ja-jp/about/sfe.html>



● お問い合わせ先：営業本部 CRM戦略推進室 TEL: 06-6346-4520 FAX: 06-6346-4556



駅伝へ向け夏合宿

7月上旬に北海道で開催されたホクレンディスタンスに、加藤風磨選手、大畑和真選手の2名が出場しました。絶好のコンディションで行われた千歳大会5000mでは2名共自己ベストを更新することができました。チームはその勢いのまま夏の走り込みへ突入し、各々上期の課題を克服すべく日々鍛錬を行いました。また、コロナ禍で自粛されていた合同合宿も再開され、九州実業団合宿には江口大雅選手と鈴木雄太選手が、全日本実業団合宿には加藤風磨選手が参加しました。他チームの主力選手と練習、生活を行ったことで、競技への取組みを見直し、これからの競技結果につなげていってほしいと思います。

今後は駅伝に向けた動きとなりますが、チームは若手中心になるため、臆することなく果敢にチャレンジするレースを目指したいと思います。引き続きご支援、ご声援をよろしくお祈りいたします。

選手コメント

加藤風磨

上期最後のレースとなったホクレンディスタンスでは、5000mの自己記録を更新でき、良い流れのまま夏合宿に入ることができました。部内合宿ではスタミナ強化に向けて距離を踏むことを意識して練習に取り組みました。また、個人では初めて全日本の合宿に参加し、普段以上の練習の質、緊張感を体感することができ、この夏は体力面、メンタル面が共に向上したと感じています。

駅伝では大きな役目でもある「流れを変えられる選手」になれるように、大会に向けて更に精進していきたいと思っています。

陸上部のメンバー紹介や大会結果、スケジュールなど詳しい情報は陸上部公式サイトでご確認ください。
<https://sports.yaskawa.co.jp/track-field/>



ホクレンディスタンス(千歳)
加藤風磨選手(右)、大畑和真選手(左)

夏合宿の様子



Don't think. Feel.

考えるな、感じる。

YASKAWA



ロボットは、感覚で動かせる。

ロボットの操作は複雑で難しい...そう思っていますか?
安川電機の「スマートシリーズ」は、タブレット型のペンダントを使い、直感的にロボットを操作できます。
頭で難しく考える前に、タッチスクリーンの上で指を動かせば、思ったままにロボットが動く。
まるでロボットと感覚を共有しているかのような驚き。小型ロボット×スマートペンダントで、ロボットをもっと身近に。

スマートシリーズ



株式会社 安川電機

ロボット事業部
〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城元2番1号
TEL (093) 645-7703 FAX (093) 645-7802
【ウェブサイト/リンク】 www.yaskawa.co.jp
【製品・技術情報サイト】 www.e-mecelab.com

FSCマーク

YASKAWA NEWS No.340

次号 2023年2月 発行予定

既刊号はオフィシャルサイトで公開中

発行日: 2022年11月28日

発行所: 株式会社 安川電機

〒105-6891 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー8階 TEL: 03-5402-4665
編集責任者: 営業本部 CRM戦略推進室 西 慶太 制作: 安川オピアス株式会社

